

# 大谷学会春季公開講演会

日時

6月8日(水) 午後1時～午後4時10分 (開場：午後0時30分)

入場無料 事前申込不要

会場

大谷大学講堂 京都市北区小山上総町  
(地下鉄北大路駅6番出口すぐ)



午後1時10分～

講題

解決よりも触発を——  
不透明な時代の社会学

講師

あべ とし ひろ  
阿部 利洋 氏

専攻は社会学。1973年生まれ。京都大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(文学)。日本学術振興会特別研究員、大谷大学講師・准教授を経て、現在大谷大学教授。南アフリカとカンボジアの体制移行・紛争解決・移民問題をテーマに調査・研究を重ねる。主な著書に、『紛争後社会と向き合う』(京都大学学術出版会, 2007)、『真実委員会という選択』(岩波書店, 2008)などがある。

午後2時40分～

講題

ひょう い  
近代の憑依と苦悩

講師

かん さん じゅん  
姜 尚中 氏

専攻は政治学、政治思想史。1950年、熊本県熊本市に生まれる。国際基督教大学準教授、東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授、聖学院大学学長などを経て、現在東京大学名誉教授。2016年1月より熊本県立劇場館長兼理事長に就任。テレビ・新聞・雑誌などで幅広く活躍。主な著書に『マックス・ウェーバーと近代』(岩波書店, 2003)、『オリエンタリズムの彼方へ——近代文化批判』(岩波書店, 2004)、『漱石のことば』(集英社, 2016)などがある。

お問い合わせ先

大谷大学 教育研究支援課

TEL.075-411-8161

▶ 詳しくは大谷大学のWebサイトをご覧ください。

大谷大学

検索